

本年度“初”事業

「中学生広島市派遣事業」の実施について

～今こそ、広島へ 戦争の悲惨さを知り、平和の大切さや命の尊さを学ぶ～



写真提供/広島市

「核兵器廃絶平和宣言都市」である本市は、この度、新たな事業として、次代を担う市内中学生を対象に、広島市への派遣研修を行います。

ロシアのウクライナに対する軍事侵攻やスーダンで続く戦闘など、テレビなどで戦争の惨禍が報道される今、改めて平和の尊さを考え、核兵器廃絶や世界の恒久平和に対する意識を醸成する必要性が高まっています。

今こそ被爆地広島で、子どもたちに戦争の悲惨さを知ってもらい、平和の大切さ・命の尊さについて考える機会を提供する事業を実施することとなりました。

また、パネル展などの研修報告を通じて、核兵器廃絶及び世界の恒久平和に関する市民全体への意識啓発につなげていきたいと考えています。

記

- 1 目的 次代を担う市内中学生を被爆地広島市へ派遣し、戦争の悲惨さを知ること  
で、平和の大切さや命の尊さを学ぶとともに、パネル展などの研修報告を  
通じて、核兵器廃絶及び世界の恒久平和に関する市民全体への意識啓発を  
目的とする。
- 2 背景 本市は、核兵器廃絶平和都市宣言（昭和60年）、日本非核宣言自治体協  
議会への加盟（昭和61年）、平和首長会議への加盟（平成20年）など、  
国際平和を推進している。

世界平和が脅かされ、その影響が世界経済に及び、日本も大きく影響を受けている昨今、市内中学生に平和を考える機会を提供することで、本市の平和教育への取組を推進し、平和を尊ぶ人材を育成する必要性が高まっている。

- 3 日程 事前研修 令和5年7月 8日（土）（富士市役所）  
派遣期間 令和5年7月26日（水）～27日（木）1泊2日（広島市）  
事後研修 令和5年8月 2日（水）（富士市役所）
- 4 参加人員（定員） 市内中学校の生徒 17人（各校1人の計算）  
※引率3人（市職員2人、添乗員1人）。
- 5 研修内容 「原爆ドーム」、「平和記念公園」、「平和記念資料館」及び「本川小学校平和資料館」等を現地ボランティアガイドの解説とともに視察（被爆者による被爆体験講話については調整中）
- 6 研修報告の場
  - ・参加した生徒の各中学校での報告
  - ・市役所や中央図書館で開催する「ミニミニ原爆展」
  - ・ロゼシアターで開催される「平和のための富士戦争展」
  - ・市ウェブサイトや広報ふじ など
- 7 参加経費 無料（現地での飲物代や土産代のみ自己負担）
- 8 募集期間 令和5年5月15日（月）～6月9日（金）
- 9 申込方法 各中学校を通じて配布する申込用紙に記入し、各中学校へ提出

問合せ

富士市総務部シティプロモーション課広報広聴担当

電話／0545-55-2736 FAX／0545-51-1456

e-mail／so-citypro@div.city.fuji.shizuoka.jp



いただきへの、はじまり 富士市